

令和2年度 支え合いの地域づくり推進モデル事業 県社協 HP 掲載用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に事業の概要を分かりやすく、簡潔に記入してください。

社協名	座間市社会福祉協議会
対象となる実践・テーマ ※いずれか1つに○をつける。	(1) 「社協の総合相談」体制の確立・強化を目的とした事業 (2) 社協職員の専門性の向上、職員育成の推進を目的とした事業 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 市町村社協の事業・組織運営強化を目的とした事業 (4) 災害時に備えた平時からの取り組みの推進を想定した事業 (5) その他、支え合いの地域づくりの推進に係わる事業
事業名	第4次地域福祉活動計画策定に向けた研究および推進体制強化事業

事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕

【目的】

R4.4より開始予定の第4次地域福祉活動計画（以下、計画）策定に向けて、現在第3次計画の評価などを行っている。第3次計画策定時点とは、職員数・計画推進体制が大幅に変化しており、職員全体にも計画推進に向けた計画の理解、市内の福祉課題の調査・研究、推進体制の構築など様々な面で整理強化が必要なため、本事業へ申請を行った。

【取組みの概要】

- *アドバイザー：（一財）CSOネットワーク内CI-Laboチーム、会議は原則zoomで開催。
- ・座間市社協内でコアメンバーを8名選出（うち3名が座長/副座長）、コアメンバーとは別に助言者を地域福祉課長、総務課長に設定。
- コアメンバーを中心に第3次計画評価、第4次計画策定へ向けての原則確認などを実施。
- ・全職員向けキックオフミーティング：1回、コアメンバー向けワークショップ：1回、コアメンバーミーティング：4回、正副座長+CI-Laboミーティング：11回

【成果や参加者の様子、今後の展望】

・第4次計画を策定にするにあたり、ニーズ把握のためのアンケート作成、策定委員構成へのアドバイス、大切にしたい3つの原則をコアメンバー内で確認し、共有できた。

- *原則(1)地域住民が関わる多様性を重視した計画 (2)身近で分かりやすい計画 (3)実行可能な計画
- ・全職員向けキックオフミーティングを行うことで、コアメンバー以外の計画策定へ向けた意識付けが出来た。

R3年度も全職員向けの研修を行うことで、意識付けを行っていく。

①R2.10.20（火）全職員向けキックオフミーティング ②正副座長+CI-Labo ミーティングの様子



①



②